

## コムギ赤かび病の防除を適期に行いましょう！

[現在の状況]

- ① 4 月上旬現在、農業研究所および病害虫防除所の調査圃場におけるコムギの予測出穂期は、4 月中旬～下旬である（表 1）。
- ② 予測出穂期から算出した予測防除適期は表 1 に示したとおりである。なお、4 月 7 日気象庁発表の気象予報によると、向こう 1 か月の気温は平年よりも高いと予想されているため、出穂期は早まる可能性がある。

※予測される出穂期及び防除適期は、播種期や気象条件によって変動するので、圃場ごとに麦の生育状況をよく確認する。

表 1 コムギ(さとのそら)の予測出穂期と赤かび病の予測防除適期（予測実施日：平成 28 年 4 月 12 日）

地域	調査地点	播種期	予測出穂期 <sup>1)</sup>	予測防除適期 <sup>2)</sup>
県央	水戸市上国井町	11/ 5	4/15	4/22 ~ 4/25
		11/17	4/18	4/25 ~ 4/28
県南	龍ヶ崎市大徳町	11/10	4/10	4/17 ~ 4/20
		11/20	4/13	4/20 ~ 4/23
	つくば市大形	11/ 6	4/13	4/20 ~ 4/23
	つくば市上菅間	11/10	4/17	4/24 ~ 4/27
県西	つくばみらい市市野深	12/ 4	4/17	4/24 ~ 4/27
	結城市結城	11/23	4/14	4/21 ~ 4/24
	下妻市高道祖	11/ 3	4/21	4/28 ~ 5/ 1
	筑西市二木成	11/29	4/17	4/24 ~ 4/27
	桜川市加茂部	11/20	4/21	4/27 ~ 4/30
	桜川市亀熊	11/30	4/21	4/28 ~ 5/ 1
	八千代町高崎	12/15	4/21	4/28 ~ 5/ 1

- 1) 農業研究所ホームページに掲載されている「麦類主要品種の主稈長による茎立ち期、幼穂長による出穂期予測法」の計算式を用い予測した。  
予測は、幼穂長調査日（4/5）からの各調査地点付近のアメダス観測所（日平均気温）の実測値及び平年値を用いた。ただし、水戸市及び龍ヶ崎市は農研速報（3 月 28, 31 日発行）のデータを用いた。
- 2) 予測防除適期は、予測出穂期の 7～10 日後とした。

[防除対策]

- ① コムギにおける防除適期は、開花始期～開花期（出穂期 7～10 日後頃）である（図）。予測される出穂期および防除適期は播種期や気象条件等によって変動するため、圃場ごとに 出穂状況を確認して適期に防除を実施する。
- ② 赤かび病菌の子のう胞子の飛散好適条件は、「日最低気温 10℃以上，日最高気温 15℃以上の条件を満たし，湿度 80%以上の日か降雨日とその翌日」である。飛散好適条件が続く場合は，1 回目の薬剤散布 7～10 日後に 2 回目の散布を行う。
- ③ 薬剤を選定する際は，使用回数や収穫前日数に十分注意する（表 2）。また，2 回以上散布する際は，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，FRAC コードもしくは系統の異なる薬剤を用いる。

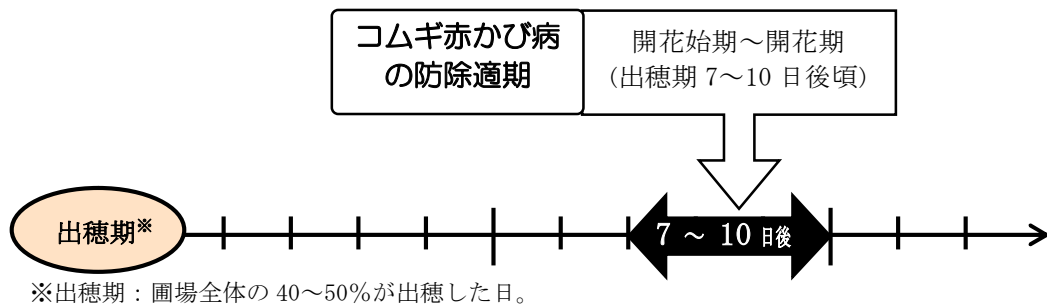


図 コムギ赤かび病の防除適期

表 2 コムギ赤かび病に登録のある主な薬剤（平成 28 年 4 月 1 日現在）

薬剤名	FRAC コード <sup>1)</sup>	系統名 <sup>2)</sup>	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	無人ヘリでの 登録の有無 <sup>3)</sup>
トップジンM 水和剤*	1	ベンゾイミダ ゾール系	1,000～ 1,500 倍	収穫 14 日 前まで	3 回以内 (但し，出穂期 以降は 2 回以内)	無 <sup>4)</sup>
ストロビー フロアブル*	11	ストロ ビルリン系	2,000～ 3,000 倍	収穫 14 日 前まで	3 回以内	無
チルト乳剤 25			1,000～ 2,000 倍	収穫 3 日 前まで	3 回以内	有
シルバキュア フロアブル*	3	ステロール 生合成阻害剤	2,000 倍	収穫 7 日 前まで	2 回以内	有
ワークアップ フロアブル*			2,000 倍	収穫 7 日 前まで	3 回以内	有

- 1) 殺菌剤耐性菌対策委員会(FRAC)により，殺菌剤の有効成分の作用機構を分類し，コード化したもの。系統名より細かく分類されている。
- 2) 薬剤の化学構造や作用の特徴によって分類したもの。
- 3) 無人ヘリ散布を行う場合は，希釈倍数等が表中の内容と異なるので十分注意する。
- 4) トップジンM水和剤と有効成分が同じであるトップジンMゾルは無人ヘリの登録がある。

※印を付けた薬剤ではブームスプレーヤーによる専用ノズルを用いた少量散布も可能である。使用時には希釈倍数等の登録内容を確認すること。